

## 令和2年及び平成27年国勢調査に関する不詳補完結果（参考表）について

令和2年国勢調査の集計に当たり、結果利用者の利便性向上を図るため、主な項目の集計結果（原数値）に含まれる「不詳」をあん分等によって補完した「不詳補完値」を算出し、これを表章した統計表を参考表として提供している。また、5年前との比較を可能とするため、平成27年国勢調査を同様の方法で遡及集計した結果（不詳補完値）を提供している。

不詳補完値の算出方法は、次のとおりである。

### ○ あん分の前処理（「人口等基本集計」のみ）

処理の対象：一般世帯のうち、全ての世帯員の年齢、世帯主との続き柄及び配偶関係がいずれも「不詳」である世帯（以下「基本項目不詳世帯」という。）の世帯員の年齢及び国籍（日本人・外国人の別）

処理の概要：

① 二人以上の世帯について、小地域別、男女・世帯人員の構成別、住宅の建て方別に、基本項目不詳世帯以外の世帯をドナーとしたホットデック法<sup>\*1</sup>により、世帯員の年齢及び国籍の不詳を補完

※1) 回答を得られているデータから、類似しているデータ（ドナー）を探し出し、ドナーの値を不詳となっている値の代わりとして代入する方法

②-1 単身世帯で国籍不詳の者について、小地域別、男女別に、在留外国人登録データ（出入国在留管理庁）を活用し、コールドデック法<sup>\*2</sup>により、年齢及び国籍の不詳を補完

※2) 類似しているデータ（ドナー）を、回答データではなく他のデータセットから探し出し、ドナーの値を不詳となっている値の代わりとして代入する方法

②-2 残る単身世帯のうち、民営賃貸共同住宅に居住している年齢不詳の者について、市区町村別、男女別に、年齢を確率的に補完<sup>\*3</sup>

※3) 国勢調査の市区町村別速報人口と都道府県別、年齢各歳別推計人口から、繰り返し比例補正により、市区町村別、男女別、年齢各歳別人口を推計し、それから原数値を差し引いた量に応じた確率で補完

### ○ あん分処理

処理の対象：各集計区分の主要な統計表における不詳項目（次表参照）

処理の概要：

① 次表に示す集計区分ごとにそれぞれ、主要分類項目による詳細なクロス集計表を、市区町村別に作成

② ①のクロス集計表における、あん分対象項目の不詳を、不詳以外のデータの構成比に応じたあん分により補完

③ ②から、参考表を構成

表 クロス集計表の分類項目

集計区分	主要分類項目 <sup>※4</sup>
人口等基本集計	世帯の種類, 男女, <u>年齢</u> , <u>国籍</u> (日本人・外国人の別), <u>配偶関係</u> , 住宅の建て方
就業状態等基本集計	世帯の種類, 男女, 年齢5歳階級, <u>労働力状態</u> , <u>産業</u> , <u>職業</u> , <u>従業上の地位</u>
従業地・通学地による人口・就業状態等集計	世帯の種類, 男女, <u>労働力状態</u> , <u>従業地・通学地</u>
移動人口の男女・年齢等集計	世帯の種類, 男女, <u>年齢5歳階級</u> , <u>5年前の常住地</u>

※4) 下線を付した項目があん分対象項目であり, これらの不詳について処理を行う。

### ○ 不詳補完結果の利用に関する参考資料について

不詳補完結果の利用に資する参考資料として, 次の資料を以下の URL に掲載している。

<https://www.e-stat.go.jp/stat-search/files?page=1&layout=datalist&lid=000001283576>

- ① 不詳補完結果 (参考表) と各集計区分の統計表との対応表  
→不詳補完結果 (参考表) と各集計区分の統計表についての対応関係を示した資料
- ② 集計事項一覧  
→不詳補完結果 (参考表) の各集計内容についてクロス表形式で示した資料
- ③ 分類事項一覧  
→不詳補完結果 (参考表) の統計表で用いられる分類事項について示した資料